

討議テーマ2：部会活動に向けたテーマや進め方

会議当日のグループ討議の検討内容を文字に起こしてまとめたものです。
部会テーマや取組内容等については今後の運営会議等で決定していきます。

補助132号線の検証

ねらい・大切にしたいこと

グランドデザイン、防災、みどり、駅前（にぎわい・交通）、商店街、車・歩行者の視点を
時間軸、エリア別で考える

今年度から取り組みたいこと

- ・「区の検証」の検証により考え方を知りたい→今だから計画を考えることができる
例）整備された後の区間で交通は詰まる点では？
- ・現状の荷さばき車の利用状況を知れば、コントロールする方法がわかるので、まずは現状を調査したい。
- ・AIを使って南北の緊急車両の通行性（ちゃんと通れるのか）を検証し、現道での課題を確認したい。
- ・アーケードを残した道路にできないか。
- ・人口減社会で本当にそこまで自動車の道路が必要なのか。
- ・西荻窪ではCO2が増えるのか。
- ・歩車道の幅員は決定事項なのか（質問）
- ・橋のところの取り付け道路はどうなるのか気になる。橋が広がると既存の川沿いの道路レベル差が厳しくなるので、あらかじめ知っておきたい。（意見）

実施に向けた課題・心配なこと

(部会テーマ)

移動制約者も安全に楽しめる道づくり

ねらい・大切にしたいこと

今年度から取り組みたいこと

- ・安全、便利に移動できるように歩道の段差と傾斜をなくしたい。
- ・だれもがウィンドウショッピングできるような道にするにはどうしたらいいかを考える。
- ・まち歩きをして、理学療法士から見た道の説明（車いすの人が通れない、危険な道）をする。立場によって、意見が違おうと思うので、いろいろな意見をぶつけ合いたい。
- ・三輪自動運転車などもあると良い。補助具を使っている人が、三輪自動車などを利用してまちに行けるかどうか、視覚障がい者の人が自動運転車で移動できるかも知りたい。
- ・視覚障がい者支援総合センターなどがあり、視覚障がい者の方も多くいるので意見を聞きたい。

実施に向けた課題・心配なこと

- ・みんなの無関心：
実現したら絶対歩きやすくなるので、どうやって理解して関心を持ってもらえるかが重要だ。
- ・話し合いの場をつくる：
共有する、理解する、前向きに話し合うことで、誰にとっても安全で歩きやすい道になると思う。
- ・視覚障害者支援総合センターなどがあり、視覚障害者の方も多くいるので意見を聞きたい。

(部会テーマ)

未来に残す西荻

ねらい・大切にしたいこと

- ・西荻窪の魅力を形成している西荻文化やものを残し、変えたくない。
例：個人商店の文化（ラーメン屋が多い）
西荻飲み（コミュニティ形成）
喫茶店、路地、ギャラリー、古書店、ライブハウスなどの文化・文化人の存在
善福寺公園（野鳥の会発祥の場所でもある）
- ・高層化による景観悪化がないので低層住宅を残したい。

今年度から取り組みたいこと

- ・まち再発見のまち歩きを実施してマップを作成する。
- ・写真展を開催する。
- ・「西荻ジン」（雑誌）を発行する。
- ・スタンプラリーを企画する。
- ・西荻カルタ、カレンダーの製作をする。
- ・「ハロー西荻」（イベント）を再開する。

実施に向けた課題・心配なこと

- ・活動するための予算の確保

(部会テーマ)

居場所づくり、情報発信のあり方

ねらい・大切にしたいこと

- ・子どもや高齢者、おひとり・単身世帯の居場所づくりや、活動内容・活動場所の情報発信を行う。

今年度から取り組みたいこと

- ・道路空間を居場所づくりにする可能性を探る。
- ・空き家を活用した居場所づくりの可能性を探る。

実施に向けた課題・心配なこと

- ・子どもの居場所などの取り組みをしているのに、それらの情報が地域の人たちや活用したい世帯に入っていないことが課題になっている。

(部会テーマ)

西荻らしい人が中心のまちを考える～新しい道路空間／公共空間の活用のあり方

ねらい・大切にしたいこと

- ・道路整備ありきではなく補助132号線のあり方考えたい。
- ・勝手に道路整備が進まない様にしたい。
- ・住民、学校、企業、行政で話し合いを進める。

今年度から取り組みたいこと

- ・人が中心の地域であるための空間のあり方を考える。その上で補助132号線はどうあるべきかを考えた
い。

実施に向けた課題・心配なこと

- ・勝手に132号線整備ありきで進むことが心配だ。

人をつなぐ道路

ねらい・大切にしたいこと

- ・「人と人のつながりが分断されない」、「人と人のつながりができる」これらを意識しながら道路を考えることが大切だ。
- ・「人のつながり」を軸に、あるべき道路問題を考えるべきだ。
- ・「住民」が現在の仕事や生活を継続することのできる道路やまちづくりを考える。商店街の友達と住人の行く末も考慮しながら、道路やまちづくりをしないと西荻の良さが失われてしまう。
- ・テーマ部会の例に「道路」がないのはなぜか。商店や街のしくみ等と密接につながることで大切なテーマだと思う。
- ・住人があたり前の様に通行している横断歩道と信号のない道路について、事故が起きる前に対策する。
- ・補助132号線が拡幅すると商店街が心配だ。新しいビルができるとチェーン店が増えて魅力がなくなる。
- ・「西荻」とは何かを定義し、それにふさわしいまちをつくる
- ・多様な人を巻き込む。

今年度から取り組みたいこと

- ・実証実験や部会を進めていくにあたって、関係する商店街や町の中心的かつ物事を進めることのできる人物が誰かということをも整理する。
- ・部会がどうすれば成功するか、成功事例や失敗事例を用いて学習する。講演にあった松陰神社や下北沢の成功事例を参考とする。
- ・バスの大きさを小型バスに変える。
- ・自転車駐輪場をつくる。
- ・第1期工事区間のことを考える。第1期工事区間で社会実験を行い今後の考えをまとめる。
- ・人の輪、つながり、出会いづくりのきっかけとなるお休み処を、道路にベンチを設置してつくる。
- ・歩道にグリーンや花壇をつくる。
- ・買収した土地を広場に変える計画も考える。
- ・若者がビジネスをしやすいよう区が補助金を出す。
- ・具体検討は主旨を町会やPTA等に共有し連携の基を作る。

実施に向けた課題・心配なこと

- ・部会や実証実験を進めていくにも、関係する商店街や町会との連携が必要になる。その際に誰に相談したり、どこと一緒に進めていくべきか分からない。
- ・現在の商店街には、こうした社会実験等を中心になって進めていくような人がいないのではないか。
- ・当事者の方に丁寧に説明をする必要がある。
- ・現状で何らかの取組のために使える道路があるのか、実施の際に安全確保ができるか心配だ。

(部会テーマ)

商店街を中心にまちのにぎわい部会

ねらい・大切にしたいこと

今年度から取り組みたいこと

- ・沿道建物の1階部分の商店化ルールを検討と、実現のための多様な方策、施策の実践を行う。
- ・景観保護のための色彩設計を行う。
- ・横浜元町まちづくり協定を学ぶ。
- ・補助132号線沿いの商店へアンケート調査を実施する。
(立ち退きに積極的なのか消極的なのか、どのような支援を必要としているか等、商店主の意向確認を行いたい)
- ・商店の経営者が西荻に住める仕組みをつくる。
- ・商店街を形成する商店主などの人々とざっくばらんに話が出来る場づくりを行いたい。
(相談会・スナックの様な気軽な場)

実施に向けた課題・心配なこと

- ・当事者である商店主や事業者などをもれなく繋ぐ仕組みづくりが課題になる。

(部会テーマ)

道路デザイン部会

ねらい・大切にしたいこと

今年度から取り組みたいこと

- ・他自治体の道路デザインについて調査を行いたい。
- ・車道の最大化、歩道の最大化の実例の収集と共有を行いたい。
- ・ストロイエ（デンマーク）やクリチバ（ブラジル）の教訓を学ぶ。
- ・ロンドン市交通局のマニュアルを学ぶ。
- ・補助132号線まち歩きを実施する。
- ・交通調査（歩行者、車両、自転車、大人、子どもなど）を行いたい。
- ・事故の実態を把握するための調査を行いたい。
- ・車の運転者、歩行者、自転車利用者、ベビーカーを使用する方、障がい者などに、現状の道路についてのアンケートを実施したい。
- ・歩行者優先の道路を実現するために、さまざまな手法を用いた社会実験を可能なものから実施していきたい。
- ・車道、歩道の境界の利用方法についての検討を行いたい。
- ・車道の拡張が自転車のアクセスのしやすさと連動すると思う。

実施に向けた課題・心配なこと

道のつくり方・あり方を考える

ねらい・大切にしたいこと

- ・新たに道を作らなくてもできる西荻のまちの魅力を創出・発掘する。歩車が共存できる道づくりをする。
- ・ハード面では道路によって西側と東側の商店（商店街）を分断しないような道路構成のあり方を考え、ソフトでの歩車共存の実現ができるような使い方を考えたい。
- ・道路は車や人の通行空間だけでなく、地下は電力やインターネット、給排水、ガスなどのインフラのスペース、また防災などの機能も担っている。そうしたことを改めて考える良い機会にしたい。
- ・地上部の空地をみどりや休息の場とした活用し、地下は自転車置き場などに活用できないか。
- ・歩道を拡張し、従来の車中心から人や樹木を中心とする道路を目指す。
- ・南北交通を通行しやすくするより、必要最低限の車しか入れない道路にする。
- ・自転車道と歩道を区別した道を増やす。

今年度から取り組みたいこと

- ・基盤状の道路の再計画や道路の愛称を公募で考えて、道への関心を高めたい。
- ・自転車交通実態を調べる。
- ・駐輪場の実態を調べる。
- ・実態調査などの取組を通じて、住民の道への関心を高めたい。
- ・自転車通行の渋滞情報をアプリなどを使って発信し、自転車渋滞を減らす。
- ・補助132号線の道路断面計画を、ゾーンやエリアごとに店舗構成や交通量も違うので、きめ細かく考えたい。

実施に向けた課題・心配なこと

(部会テーマ)

空き地の利活用実験部会

ねらい・大切にしたいこと

- ・街路樹の考え方を見直し、土の地表面を増やすことで涼しく過ごせるようにする。
- ・暫定用地をみどりにし、樹冠を豊かにしたい。現在の緑被率は草地などもすべて同じ指標になっている。

今年度から取り組みたいこと

- ・空き地は限定的なので、何でも実験的に行えるスペースとして活用する。
- ・ベンチを置いてみたり、花壇にして野草やプランターを置いてみたり、駐輪場にするなどできるだけ早くまずはやってみる。
- ・民間からのアイデアとして、まず自分たちでやってみて、検証し、改善することを繰り返したい。
- ・実験を通して、今日のような場に来る人以外にもデザイン会議に広く興味を持ってもらうきっかけにしたい。

実施に向けた課題・心配なこと

- ・土地を住民が利用するための手続きをどう進めるか。

(部会テーマ)

ウォーカブルなまちづくりに向けてのいろいろな人の知恵を集める

ねらい・大切にしたいこと

今年度から取り組みたいこと

- ・ウォーカブルにしたいエリアを指定し、そのエリア内に進入する車、自転車利用の目的をアンケートなどでチェックする。
- ・交通量確認、人の流れの確認
- ・交通量調査：車両、滞留、歩行
- ・ウォーカブルエリアの設定：現在の交通動線との問題点検証
- ・商店街の方々の意見聴取
- ・シニア層への意見聴取
- ・ホームページなどを活用して住民を所有（長期）、賃貸（一時的）に分けた意見収集を進める。

実施に向けた課題・心配なこと

(部会テーマ)

プロセス：具体的な活動を仕掛けてみる

ねらい・大切にしたいこと

- ・何でも良いから、デザイン会議の参加者が主体となってトライアルで早急に取り組み実施する。
- ・集まっているだけでは自分ごとにならないので、実践することで当事者意識をみんなに持ってもらう。それが参加者の増加につながる。

今年度から取り組みたいこと

- ・補助132号線拡幅事業に伴い、まちなみのルール（条例）策定は早急に取り組む必要がある。
- ・参考になる街並み形成のガイドラインを策定した自治体の調査
- ・まちづくりルール、条例づくり検討→建替えが進んで高い建物ができる前に
- ・他地区の事例に学びながら、仮のガイドライン・ルールを検討

実施に向けた課題・心配なこと

(部会テーマ)

コミュニティの中のわたしの居場所づくり

ねらい・大切にしたいこと

- ・新たな横のつながりを作り、子どもが戻ってきたいまちにする。
- ・居場所をつくり「ここしかない、ここにいる意味も感じられる」ようにする。
- ・街の問題を共有でき、友達にならないぐらいの緩いつながりで、個を大事にしつつ気軽につながる。

今年度から取り組みたいこと

- ・居場所づくり：子育てが終わった世代の交流、子どもと大人、サードプレイスとしての居場所づくりをする。
- ・健康という視点でまちを考える：「歩く」以外の運動を知る、できるヒントを提供する。居場所で歩く。

実施に向けた課題・心配なこと

老いも若きも住民参加の調査・実験して未来像提案

ねらい・大切にしたいこと

- ・住民みんなでやってみる：自分の立場や状況にこだわらず一緒に取り組む。
- ・子どもも含めた誰もが参加できるように。

今年度から取り組みたいこと

【STEP1】まちの活動をもっと共有したい

町会、民生委員など地域の活動も様々あるので、情報の共有ができると良い。例えば、区の補助を得て、木のベンチを街に設置されたなどのまちで起こっていることや、地域のイベントなど。

【STEP2】西荻＋近隣事例のまち歩きで現場を知りたい、学びたい

地域内外のまち歩きや勉強会で現場を知る。

まちにおける道路整備などのあり方などを学ぶ勉強会したい。今後のまちのありかたを見据えた道路の整備に関して、様々な考え方の専門家を呼んで、道路計画の歴史、他国の事例など勉強会、学習会を開く。

【STEP3】参加型の調査をしたい

自転車に乗る人が多いので自転車駐輪について利用者視点での調査や提案をする。

車に乗る人、歩行者、自転車、お店の人などに心配事や困りごとを聞く調査を行う。

住民の方々も交えた交通調査をし、子どもたちや障害のある方も参加する。

交通実証の調査（歩行者、自転車、車など補助132号線はだれが使っているのかを調査する。）

実験結果を活用した社会実験をしたい：道路に関する様々な社会実験、駅前の自転車、自動車の棲み分け、車の規制、車を規制した上での駅前ほこみち、ほこてんなどの文化イベント

実施に向けた課題・心配なこと

(部会テーマ)

空き地活用で暮らしの価値が広がる

ねらい・大切にしたいこと

- ・暮らしの価値が広がる、豊かになる。
- ・空き地活用では荷さばきの問題もある。安全にしたい。

今年度から取り組みたいこと

【空き地の活用】

- ・スタッフと住民が一緒になって空き地の除草などから始め、下北沢の事例などを勉強し、アイデアを出しあいながら緑化を進めたい。
- ・空き地に食べられる緑を植えて、区民で維持管理する。
- ・まちなかにみどりを増やすため、空地をグリーンインフラに位置づける。
- ・交流の場にしたい。
- ・空き地活用プロジェクトとして空き地の暫定利用アイデアコンテスト・荷捌き場としても活用し、歩行者と交錯しないことによって歩く人も働く人も安心できるようにしたい。
- ・具体化した共通の目標を持ちたい。

【街路樹帯の活用】

- ・駅周辺の道路の街路樹に何ができるか考えたい

実施に向けた課題・心配なこと

(部会テーマ)

西荻の文化について対話の機会を増やし、住民自治を高める！

ねらい・大切にしたいこと

- ・ 外国籍の方を見る機会が増えた気がするので、実態を知りたい。多文化共生とか考えるべきかもしれない。
- ・ にぎわいは別にいらない。静かに落ち着いて暮らせることも大事だと思う。
- ・ 西荻の文化について、皆で話すような対話の機会を増やし、住民の自治を高める。

今年度から取り組みたいこと

実施に向けた課題・心配なこと

- ・ 区議会が荒れているらしい。住民が気軽に議会をウォッチして、ワイワイ感想を言い合う機会を増やす。

(部会テーマ)

緑を生かし、緑をつくる

ねらい・大切にしたいこと

- ・緑を生かす。
- ・緑をつくる。
- ・補助132号線の拡幅をしなくても緑を生かす活動はできそうだ。

今年度から取り組みたいこと

- ・点在する公園、ケヤキなどの大きな木を拠点とした定期的な催しを開催し、デザイン会議には出てこない人達からも意見を集める。杉並区のゆるキャラなみすけを活用してコーナーを作っても良いのではないかな。
- ・駅付近や空~~き~~地の緑化計画を考える。

実施に向けた課題・心配なこと

(部会テーマ)

すべての人に安全、安心な西荻の道

ねらい・大切にしたいこと

今年度から取り組みたいこと

- ・ どの道のどこに課題があるのか(例：たばこのポイすて)を調べる。
- ・ 地域の年齢別、子ども、高齢者、障がい者などの特性によって課題が異なるので、いろいろな人の視点から調べたい。視野、ライト、休憩ポイント、道幅（ベンチ、給水ポイント）を確認したい。
- ・ 住民だけで調べることは難しいので、区の業務として調査し、見える化、データ化してほしい。

実施に向けた課題・心配なこと

- ・ 自分にとっては西荻はすでにウォーカブルだが、子ども、高齢者、障がい者などの多様な人の視点や、自転車、朝、昼、夜などのあらゆるポイントから考える必要がある。
- ・ 車利用でない人のことを考えた道路になってほしい。
- ・ 西荻で住民の関心や熱意をどう高めていくかが課題になる。